

地域と学校が連動する「3つの柱」と今後の展開



令和8年度 橋本市 共育コミュニティ推進方針



「広報・学生ボランティア・出前授業」の拡充を通じ、
すべての子どもと大人が学び合う
循環型コミュニティを構築します。

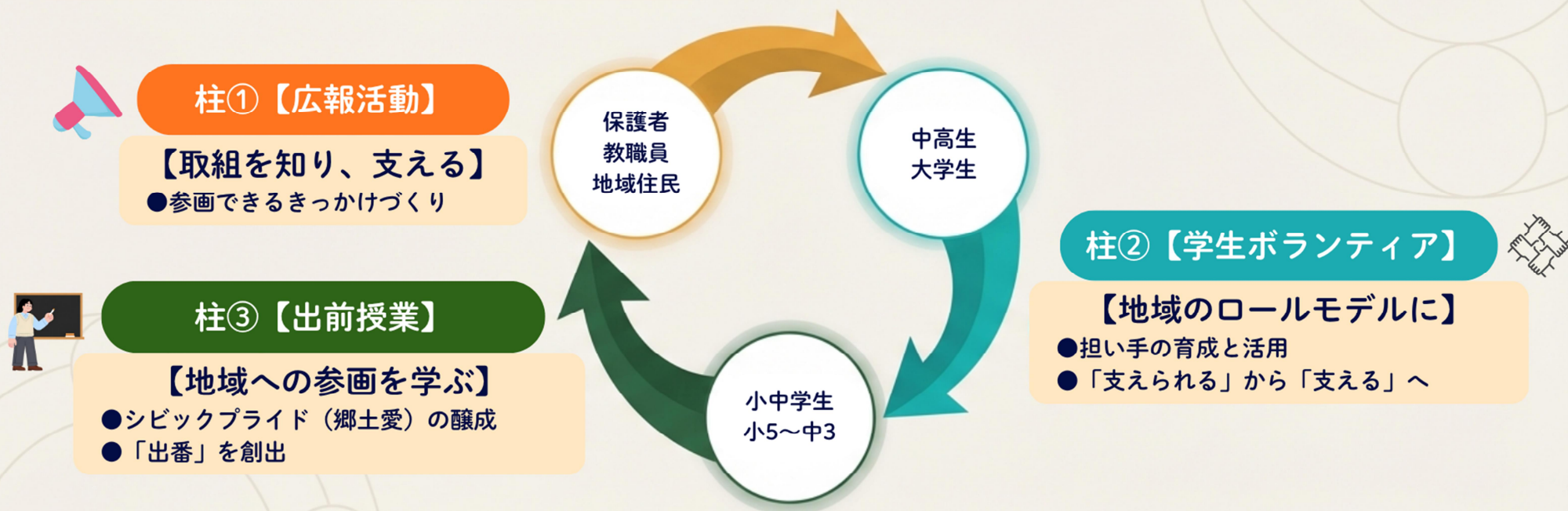
橋本市教育委員会 生涯学習課

令和8年度「3つの柱」拡充に向けた 具体アクション

柱	アプローチ先	昨年度の取組	今年度の目標
柱① 【広報活動】	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者 ●教職員 ●地域住民 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会内の掲示充実 ●教育委員会HPの内容充実 ●各校で共育CNプロフィール掲示 ●公式LINE発信（1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者・教職員・地域住民への認知拡大 ●プリント広報を年3回（4月・10月・3月を予定） ●プリント広報と連動して公式LINEでの広報を実施 ●各校・園・公民館などへのポスター掲示依頼
柱② 【学生ボランティア】	<ul style="list-style-type: none"> ●中高生 ●大学生 	<ul style="list-style-type: none"> ●70名以上の学生に ボランティア活動証明書を発行 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内中学校・高校での説明会実施 ●ボランティア募集の一覧表を作成 ●夏休みの活動を中心にボランティア募集 ●参加目標人数100名以上
柱③ 【出前授業】	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生 小5～中3 	<ul style="list-style-type: none"> ●3校で実施 うち2校は 「地域との参画」をテーマに 総合的な学習の時間と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●出前授業の実施 ●各校のニーズに合わせた授業設計や 「総合的な学習の時間」と連携させて 継続的に取組をサポートします

共育コミュニティ推進のカギ 「3つの柱&ターゲットと循環」

人がつながる地域の「わ」づくり
(第2次橋本市生涯学習推進計画)



この3つの柱は独立したものではありません。

保護者・教職員・地域住民の理解が基盤となり、中高生や大学生が背中を見せ、
小中学生が地域へ参画する「育ち合いのサイクル」を生み出します。